



運 営 協 議 会 だ よ り

第4号

代表 近藤 弘文 校長 加藤 雄一

第4回地域協働学校運営協議会が開催されましたので、議事の概要をご報告します。

■日 時 令和3年9月7日 17:00～18:00

■場 所 落合第六小学校 図書室

■司 会 副校長

【代表挨拶】

本日も緊急事態宣言中ですので、早めに進行したいと思います。西落合図書館館長の柿原さんが退職のため、10月から新しい館長の大森さんが、次回から出席予定です。

【校長挨拶】

・8月25日より2学期が始まりました。感染対策し、通常登校を実施しています。緊急事態宣言が延長されそうなお、予定している行事も、内容の変更を余儀なくされることもあると思います。

・9月3日には学校連携観戦として、パラリンピックの陸上競技を4～6年生が国立競技場で観戦しました。

・コロナの影響で昨年度から水泳指導が実施できていませんでしたが、本日、プールで「水の安全指導(4・5・6年生)」を実施しました。入水中はマスクを外すため話さないなど感染対策を十分行い、安全に実施できました。

【地域協働学校の取組について】

地域協働学校課外活動アンケートを教職員に実施し、集計結果をいただきました。

次回、この結果をもとに、今後協議していきます。

【学校評価について】

年2回実施している、学校関係者評価を行います。学校公開等、地域・関係者の方への公開はほとんど実施できておらず、評価することが難しい状況です。コロナ禍の現状も踏まえて、自由意見に感想等も含めてお書きいただければと思います。

【意見交換】

・コロナ感染が心配で登校していない児童について、どのような対応をしているのか。→授業で実施したプリントやタブレットを使った学習を行っている。

・その他の理由で欠席した児童について、どのような対応をしているのか。→保護者とその都度連絡を取り合っている。

・学校への登校やオリパラ観戦の参加可否など、コロナに対する考え方は家庭によってさまざまだが、学校側から多少の情報提供があれば良いと思う保護者もいるようだ。→新宿区の指示で実施していることが多い。学校独自の情報提供は難しい。最終的な判断は、ご家庭にお願いするしかない。

・実際にオリパラ観戦では、子どもたちは静かに移動し感染対策できていた。観戦後の子どもたちはとても明るい表情だった。スポーツの力は素晴らしいということを感じた。なかなか中に入ることできない国立競技場に入れたことも、良い経験になるのではないかな。

・テレビ・インターネットなどでいろいろな情報が溢れている。判断するには、自分の意見をもつことが大切ではないかな。

・地域センターではワクチンの接種会場になっており、実施日は一般の利用ができない状況である。

【次回の予定】 令和3年10月5日(火) 17:00～

【出席者】

近藤 弘文、西澤 輝信、橋田 稔、原田 榮、亀井 治子、篠田 邦子、舘 次郎、
柿原 秀行(西落合図書館館長)、大山 真帆子(落合第二特別出張所所長)、
森 修二(教育支援課)、加藤 雄一、村上 珠子、水上 真理(書記兼務)、